

# Governor's Letter Vol. 2 October 1, 2022



## District 26/Zonta International

### 国際ゾンタの目標 2022-2024

Build a Better World For Women and Girls

女性と少女のためのより良い世界を築く



**WAVE** を起こそう！

Email : d26governor@zonta-d26.jp 浅野万里子 ASANO Mariko

デザイン協力: 中原真理子様 (群馬ZC) ・花岡美智子様 (東京III ZC)

ゾンタローズのイラスト: 堀本美恵子様 (東京III ZC)

#### 第2号の目次

- ・ガバナー巻頭言「どんな時も女性と少女に笑顔運びたい！」・・・ p 1
- ・26地区リエゾン RENEÉ L. COPPOCK 様からのお便り・・・ p 2
- ・「体感！実感！世界大会 in Hamburg」・・・ p 3-p 5
- ・YWPA奨学金委員会からの報告・・・ p 5
- ・ヒトデプロジェクトについて・・・ p 6-p 7
- ・ガバナー 西に東に 昼に夜に 対面もバーチャルも・・・ p 7
- ・Zonta最新情報・・・ p 8
- ・募集中！・・・ p 8

#### どんな時も女性と少女に笑顔運びたい！

26地区 ガバナー 浅野万里子

台風14号が各地に甚大な被害をもたらした9月20日のことです。Ute 国際会長からメールが届きました。「大きな台風が日本を襲ったと聞きました。ゾンシャンの皆さんのご無事を祈っています。被害がありませんように。」とのこと。短いメールでしたが、とても勇気づけられました。26地区の会員の800余名のネットワークをたどっていけば今夏各地で起きた災害の被害にあった方に行き着くはずです。心よりお見舞い申し上げます。

コロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻、地震・台風等の自然災害は止みません。ゾンタの2022-2024期の目標「女性と少女のためのよりよい世界を築く」達成のスピードを遅くする、あるいは後退させかねない事象が続いています。ロシアとウクライナそれぞれの大統領の顔つきが一段と陰しさを増し、災害被害の様子を流す映像は、小さい子どもたちには見せたくない光景です。どのような状況にあっても、お金やものを越えた人と人とのつながりを通して、女性と少女から笑顔を引き出すゾンタとゾンシャンでありたいものです。

## 万里子ガバナーと26地区の会員の皆様

### RENEÉ L. COPPOCK

こんにちは。

この度、26地区のリエゾンを務めることになりました。一人一人と直接お話をすることは叶いませんが、自己紹介をさせていただきます。私はフランスのヴェルダンで生まれ、米国イリノイ州で育ち、その後35年間はモンタナ州ビリングスに住んでいます。弁護士として法律事務所のパートナーオーナーをしており、主に不動産取引、農場・牧場法、水法、環境法、商業契約などを扱い、国内外のクライアントと仕事をしています。家族は夫のダヴィド・コポック、娘のシエラと犬のウィローです。趣味としてハイキング、サイクリング、ランニング、ノルディックスキー、料理、読書を楽しんでいます。

ゾンタへの献身と、女性と少女のためのより良い世界の構築に尽力してくださっている皆さん一人一人に感謝します。26地区のホームページを通して、皆さんがゾンタに多大な時間とエネルギーをボランティアで提供しておられるのがよくわかりました。ジェンダーに基づく暴力と少女や女性に対する教育の欠如は、最も蔓延している人権侵害です。皆で協力して初めて、暴力をなくし、どこに住んでいようと、少女や女性の教育を確保することができます。自分が達成しようとしていることを誇りに思いましょう。

この2年間に国際理事会とゾンタ女性財団理事会の決定と行動について最新情報をお伝えしていきます。決議2の作業を継続し、ゾンタの関連性を維持し、可能な限り最も生産的な方法で資源を活用する方法を決定するために、組織のあらゆる側面を見直しています。国際ゾンタの理事が誰であるかを会員に知ってもらうために、理事のビデオが国際のホームページで共有される予定です。また、プロジェクトのビデオも、現地視察後にアップされ、皆が関わっているという肯定的で非常に現実的なインパクトを感じていただけるようになります。

来春、第2回アジア地区間大会でお会いしましょう。これは、ゾンシャンと出会い、アイデアを共有し、成功を祝い、よりよいリーダーになることを学ぶ絶好の機会になるでしょう。ぜひご参加ください。国際大会、地区間大会、地区大会およびエリアミーティングに出席することは、ゾンタならではの親睦を真に体験し、ゾンタワールドについてもっと知るために不可欠です。

国際理事会またはゾンタ女性財団理事会について質問や懸念がある場合は、万里子ガバナーに連絡してください。出来るだけ早く、お答えするようにします。改めて、世界中の女性と少女のために活動しておられる皆さんに感謝します。この2年間、一緒に仕事ができることを楽しみにしています。



**RENEÉ L. COPPOCK**  
(she/her/hers)  
International Director  
Zonta International /  
Zonta Foundation for  
Women

*Reneé L. Coppock*





## ハンブルク市庁舎特別会議場での大会宣言

田中洋子（東京ⅠZC）

大会は24日、ハンブルク市庁舎の特別会議場から始まりました。

欧州の慣習通り、まず市長がゾンタを歓迎し、様々な活動を称えます。それを受けゾンタ国際会長が、歴史ある河川港湾都市で国際会議を行える幸せを述べ、開会を宣言した後、市長招待の特別な広間に通されます。様々な飲物や料理を捧げ持つ、たくさんの給仕が絶え間なく廻り、ゾンシャンたちは花を飾った立食用卓を使い、市長や参加のハンブルク文化人と歓談しました。



荘厳な市庁舎でのレセプションの様子

## ハンブルグ大会を振り返る

～立場を離れ、一ゾンシャンとして思うこと～

阪井サヤカ（横浜ZC）

国際大会で印象に残ったことは、戦時下にあるウクライナのゾンシャンたちの参加である。代表が旗を持って登壇した際には、スタンディングオベーションが起き、私も胸を詰まらせた。会場の外でもドイツのゾンシャンである野崎陽子様が中心となって日本からの贈り物をウクライナの方々に差し上げるのを、少しだけお手伝いさせていただいた。皆さんとても喜んでおられた。

終わって思うのは、木下彰子様が引き続き国際の舞台で活躍されることになったことである。日本のゾンシャンに取って大きな収穫であり、誇らしく思う。



夕暮れのアルスター湖

## 第65回国際大会に参加して

後藤愛子（東京ⅡZC）

ハンブルグでの国際大会3件のプロキシを預かり「デリゲート」として、国際役員選出について3クラブからの依頼の方の選出を実施。

「バイローズ」は時間をかけて検討する必要がある、通訳機能で理解対応するのですが何分「速攻性」が求められます。「全て上手く順応対応するには、十分な理解を踏まえて参加した方が望ましい」と思います。



ウクライナからの参加者と野崎様とともに

## 軽いけど重い!?

浅野万里子（東京ⅢZC）

私が所属する東京Ⅲゾンタクラブは、設立22年目を迎える。国際大会に初めてデリゲートを送ったのはトリノ大会であった。今回初めて、プロキシを2つのクラブからお預かりした。投票用機器そのものは軽く、3台を首からぶら下げても、さして重さは感じない。が、責任は重かった。

クラブ毎に指定された機器や賛否のボタンを間違えること、そして

何よりも棄権することがないように体調管理にも気を使った。

ミッション達成！

万歳！



デリゲートセット  
意外に軽いです。

現場は行かなきゃわからない

～コロナ禍の国際大会に参加して～

上田恵子（大阪 I ZC）

ゾンタ歴52年、数々の国際大会に参加したが、コロナ禍の大会は初体験。2018年横浜大会主催者としての経験を思い出すと、本会は準備、お気遣いがさぞ大変だったことと深く感謝している。会議の途中でそっと抜けられる方もあり、コロナ罹患とのことで心配した。会場の設備や担当者はいつもより少なく寂しく感じた。IT化によりオンライン参加ができるのは進歩ではあるが、「わざわざ外国まで行かなくても...」という声には驚いた。世界のゾンシャンと心をつなにする現場のあの感動は、行った人しか味わえない。



宝物となった国際会長との記念写真

窓の景色

岡澤則子（大津ZC）

エリザベス女王国葬に赴かれた天皇皇后両陛下はノーマスク参列されていた。私もハンブルク国際大会では、周囲に倣ってノーマスクでガバナー同級生と再会し友情を温めた。私は26地区最年少ガバナーらしいが、30代40代のガバナーが大活躍をしているここでは年配者である。英国やドイツにコロナが無い訳ではない、人々にその認識が無い訳でもない。然し敢えて「日常」化を始めている。良くも悪しくも秩序と慣習を重んじる封建的な島国である日本とは違う。

さて、国際大会の最大の思い出は、「窓の景色」である。ホテルの1室に拘留されること16日間。毎日毎時間窓から同じ光景を仕方なく眺めた。今、朝目覚めてあの景色でないことに気づき、どれ程安堵することか。私にとって、ハンブルクの窓の景色は一生忘れることの出来ない、墓場まで持って行く旅土産である。



これが窓の景色です

汗と大移動で始まり、歓声と感動で終わった旅

内藤恵子（大阪 II ZC）

出発前から波乱含み。予約した便は3回キャンセルで、都度運賃は↑ AM5:30 フランクフルト空港到着なのに、その日ハンブルグ行きはなく、列車で行くとチケットを渡された。荷物の受け取りに空港中を3時間駆けずり回る。やっと取り戻して駅へ。出発間際に滑り込み、見つけた席は指定で×。親切なお兄さんが、それは1等車のチケットと教えてくれ、今度はまた一番端の車両まで大移動。7時間かかりハンブルク駅に到着。へとへとで着いたホテルに長蛇の列。？と思ったら、チェックイン待ちだった。肅々と進行しドイツらしさが随所に出ていた国際大会だったが、ウクライナの会員の登場に大声援。ロビーではゾンシャンが交流し、楽しく盛り上がった。対面参加1500人、webは500人。会議場で1日過ごす毎日だったが、今までの旅行と違う「すごい」体験ばかりだった。 **懲りずにまた参加したい!**



第65回国際ゾンタ世界大会 in ハンブルグ

を振り返って

木下彰子（北九州ZC）

世界大会は、次期に係るバイローズ審議・役員選出・活動目標等決定、という大切な役目がありますが、世界中の友達との出会い・再会を喜び合える最高の機会でもあります。

今回私は、国際理事として最後の役割を果たしながら、懐かしい友人達との再会という本当に幸せな時間を過ごすことができました。

又、皆様のお蔭で国際指名委員（アジア担当）という役目を頂くことができました。

世界を舞台に活動できるチャンスを再度頂けましたことに心から感謝申し上げます。

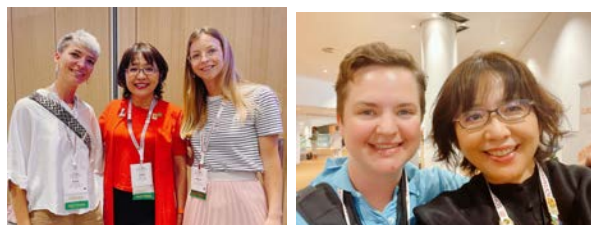


## ハンブルク世界大会に参加して

籠田淳子（北九州zc）

『女にしとくのはもったいない』なんてこれからの女性に言わせない！と思っています。そのためには未来を担う女性リーダーを育て発表する機会を作らなければいけません。若い会員とこれまでの会員にはかなり距離があるかもしれません。若い会員のネットワークを作り理事役員会へも参加して風通しよく両者が学び合うことが大事だと思います。

国際の舞台に日本が立つことを誇りに思いました。ZONTAインターナショナル大会にみなさんいきましょ。感謝！



世界会議ワークショップでリーダーをしたり  
討議をした30代と20代の素敵なゾンシャン

## ハンブルグの朝

福島大亮（北九州zc）

ハンブルク世界大会に各国、地域より集ったゾンシャンたちの多くは大会会場（CCH）に隣接するRadisson Blu Hotelに滞在されたが、私の宿泊先は会場から徒歩15分のところにあるHamburg Marriott Hotelだった。

毎朝7時過ぎにホテルを出てゆっくり歩きながら会場に向かった。4日間ではあったが日本の生活とはまったく異なるルーティンである。

私の知るハンブルグの朝は爽やかで空も透き通るほど青かった。



## YWPA奨学金委員会からの報告

2022年度は4名の応募があり、地区理事会による厳正な審査を経て、26地区からは河東らい葵さん（中村学園女子高等学校；福岡ゾンタクラブ推薦）を国際ゾンタに推薦。その結果、地区賞として奨学金 US\$1,500 と賞状が国際から、副賞が地区からそれぞれ授与されます。なお、選外となった高田暖子さん（神戸市立科学技術高等学校；フェニックス神戸ゾンタクラブ推薦）、増永朱花さん（福井県立羽水高等学校；福井FINEゾンタクラブ推薦）、谷口由姫さん（仁愛女子高等学校；福井FINEゾンタクラブ推薦）には、26地区から地区特別賞として賞状と副賞が授与されました。ご協力くださいました関係各位に感謝いたします。

森本博子YWPA奨学金委員長 納富輝子前同委員長 浅野万里子ガバナー

※ 現在、2023年度の募集を行っています。各クラブからの推薦は原則1名です。また、2023年からは国際賞と地区賞の区別がなくなり、賞の基準を満たしていれば、26地区に国際賞1名 US\$5000 が授与されます。



## ヒトデプロジェクトについて



第16回地区大会で継続が決まったヒトデプロジェクトについて、少し触れたいと思います。遡って、2022年ガバナー通信2月1日号に当時の岡澤則子ガバナー（現パラメンタリアン）が記しておられます。

・・・これは（略）海岸に打ちひしがれて苦しんでいる可哀そうなヒトデを1匹でも海に還してやろうという26地区 \*46 クラブが共に行う地区プロジェクトです。届けられるのは物品ではなく温かい心でしかありません。些細な品物に「日本のゾンタはあなたを応援しています。ずっと一緒です。」という思いを乗せて届けています。（略）つきましては、個人的に反対だった方も反対だったクラブも、地区のプロジェクトとしてどうか受け入れて下さり、（略）ご理解とご協力を賜りますよう切にお願い致します。困っているヒトデを見つけてあげて下さい。（略）女の子がヒトデを海に還している絵は私達国際ゾンタ26地区の奉仕の象徴です。日本中で見ればほんの一握りに過ぎませんが、北から南まで全国の頑張るヒトデ達に同じプレゼントを届けて来ました。（略）くじけそうになったら表紙の小さなヒトデの絵を見つめて下さい。あなたは一人ではありません。私達国際ゾンタ26地区は今もこれからもあなたに寄り添っています。・・・

（\*現在は44クラブ）

26地区独自の奉仕プロジェクトの真意を今一度思い出していただければ幸いです。2022-2024期のポイントを次のように考えています。

- ・26地区の全クラブ、全会員がこのプロジェクトに取り組み、奉仕の意義を改めて考え、理解を深める
- ・「袋詰めをした後、贈呈先に届ける」までの一連の作業を各クラブが行う
- ・プロジェクトを通して、ゾンタの存在を知ってもらう

前期から引き継いだグッズ類も活用しつつ、またお寄せいただいた寄付90万円+を原資として、2年間で計4回（2022年12月、2023年3月と12月、2024年3月）を目指します。クラブを通じて「女性と少女のためのより良い世界を築く」ことにつながる民間シェルター、子ども食堂、その他の施設にプレゼントを贈る。ここまでは前期と変わりません。が、地区から施設への直送はせず、クラブに袋詰めと発送（または持参）までの作業をお願いしたいと考えています。ここが大きく異なるところです。幸い、コロナ禍第7波も収まりつつあり、対面での例会も可能な状況になっています。

ささやかなプレゼントを手にする人たちの笑顔を想像しながら、楽しく作業していただければ幸いです。

贈る側も笑顔、贈られる側も笑顔！皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

ヒトデプロジェクトへの寄付は〔三井住友銀行新宿支店（店番221）普通預金 5163077 国際ゾンタ26地区 奉仕会計 呉本聖子〕までお願いいたします。振込人名には「ヒトデ〇〇〇〇」とお書きください。



## ヒトデプロジェクトの新しいロゴマーク



デザイン：岡澤則子パラメンタリアン（大津zc） 彩色：佐藤智美様（高松zc）

### ガバナー 西に東に 昼に夜に 対面もバーチャルも

#### ガバナー交代～2022年10月1日

- 6月28日 ガバナー交代式@コンベンション・センター・ハンブルグ
- 7月 7日 第1回理事会・役員会・委員長等会議打ち合わせ@Zoom
- 7月 9日 第1回理事会・役員会・委員長等会議@東京ウィメンズプラザ
- 7月31日 東京 I ゾンタクラブ創立60周年記念式典・祝賀会@京王プラザホテル東京
- 8月 1日 ガバナー通信第1号発行
- 8月 5日 第2回理事会@Zoom
- 8月18日 第3回理事会@Zoom
- 8月22日 会員データベース構築プロジェクト打ち合わせ@Zoom
- 8月29日 第17回地区大会打ち合わせ@名古屋観光ホテル
- 8月30日 JMK奨学金26地区推薦書類一式提出
- 9月 1日 第1回ガバナーコール@Zoom
- 9月 2日 第4回理事会@Zoom
- 9月 6日 国連ウィメン日本協会2022年度第7回理事会@Zoom
- 9月14日 Z&GZクラブサミット打ち合わせ@Zoom
- 9月25日 ガバナー報告提出（1回目）※オンラインアンケート形式
- 10月1日 ガバナー通信第2号発行

## Zonta 最新情報

### 【国際ゾンタ編】

- Reneé L. Coppock 国際理事が26地区の担当に決定
- Ute Schulz 国際会長が、第17回地区大会に来日決定

### 【26地区編】

- クラブ設立25周年を迎えるフェニックス神戸ゾンタクラブに、Ute 国際会長からお祝いのメッセージが届きました。（8月24日）
- WAVEを起こそう！のデザインに応募がありました！現在発表準備中です。

### 【第17回地区大会速報】

2023年10月5日（木）前夜祭@名古屋能楽堂

2023年10月6日（金）～10月7日（土）昼 第17回地区大会@名古屋観光ホテル

2023年10月7日（土）午後 国際ゾンタ26地区G&GZクラブサミット@名古屋観光ホテル

※26地区会員もオブザーバー参加可

2023年10月8日（日）国際会長を岐阜長良川鵜飼にご案内

※26地区会員も参加可

## 募集中！

☆来年の地区大会前夜祭において、名古屋能楽堂で日本文化を代表する和の演目をまたは、日本人で西洋の演目を演じてくださる方を探しています。自薦・他薦を問いません。但し、山ほどの謝意は表しますが、謝金は・・・？

最終決定は地区大会実行委員会が行い、年内に決定する予定です。

### 【編集後記】

As for the Governor's Newsletter, it is just that -- YOUR newsletter. 「ガバナー通信はどうすればよいのか？」に対する国際ゾンタの答えです。

勇気百倍、自由な形式で、多様な執筆者による投稿をこれからも心がけてゆきます。載せてほしい記事、取り上げてほしいトピック等ご意見大歓迎！（am）